

「赤ちゃんの体調不良」 その見極め方

国保旭中央病院小児科 たかであ たすく 高寺 侑 医師

こども急病電話相談

受診するべきかどうか迷ったら

#8000

毎日夜7:00~翌朝6:00

※相談は無料ですが、通話料はご負担いただきます。

ダイヤル回線・IP電話・光電話・銚子市からは
☎043 (242) 9939

Q1 赤ちゃんの具合が悪いときに 気がつくポイントがありますか？

特に低月齢の赤ちゃんは自分では症状を訴えられず、具合の悪さにも気づきにくいです。なんとなく「具合が悪いかも」と思ったときには、以下の4つにわけて具合を観察するとよいでしょう。あてはまるときには、具合が悪いサインのことがあります。

①周囲のものに興味を持つか

生後2か月以降では、視線が合うか・あやして笑うかを確認して

- ・ 普段は視線が合うのに起こしても寝たまま
- ・ ずっと機嫌が悪く泣いたまま

②呼吸の様子

- ・ 肋骨や首の周りが呼吸するたびにペコペコ凹んで苦しそう
- ・ 10秒以上呼吸を休んでしまう

③皮膚の様子

- ・ 皮膚の色や唇が紫色になっている
- ・ 哺乳するとき汗をかいて苦しそう
- ・ 皮膚の色がいつもより悪くて元気がない
- ・ 黄疸おうたんが新しくでてきた

④経口摂取の様子

- ・ 飲んだり食べたりする量がいつもの半分以下になった

Q2 受診する目安は何ですか？

赤ちゃんの体調が心配になるのは、ごく当たり前のことです。特に生後数か月ごろまでは、医療従事者であっても具合の悪さを見極めるのは簡単ではありません。Q1の具合が悪いサインにあてはまるときや、その他にも何か変だなと思ったときには受診するようにしましょう。また、生後3か月未満で38度以上の発熱があるときや急に何度も吐き始めてしまった場合にはその時点で受診するようにしてください。

Q3 受診したあとに気をつける ポイントは何ですか？

特に赤ちゃんの場合には、最初の症状がわかりにくいいため、すぐに病気を診断できないこともあります。一度受診して医師から「大丈夫そう」と言われた場合でも、自宅で様子を観察して、具合がもっと悪くなったと感じた場合には、もう一度受診をお願いします。

